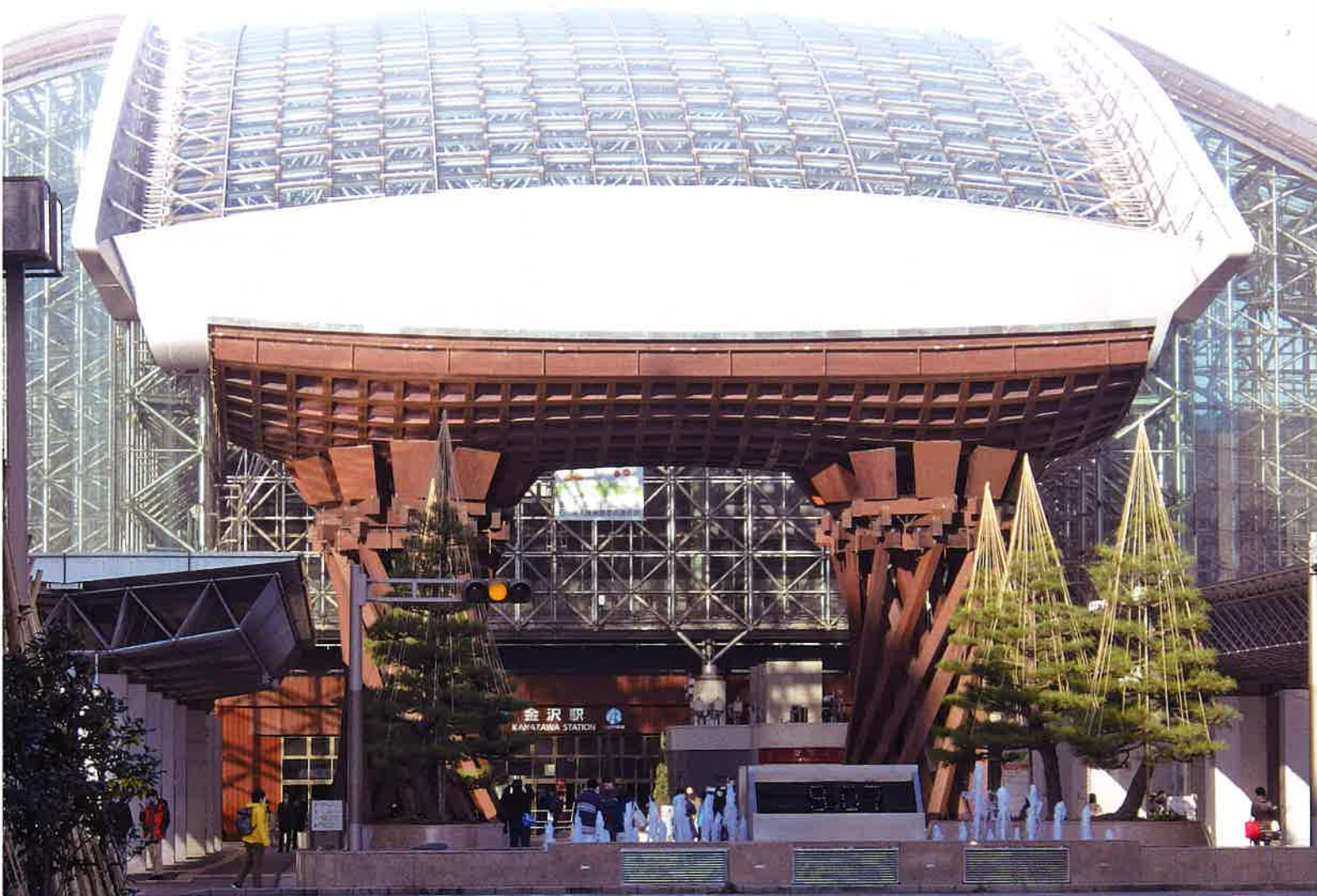


40th Anniversary

石川県支部 40周年の歩み



公益社団法人建設荷役車両安全技術協会石川県支部



祝 辞



創立40周年によせて
石川労働局長
長嶋 政弘

公益社団法人建設荷役車両安全技術協会石川県支部の創立40周年をお喜び申し上げます。皆様方には、労働行政の推進に格別のご理解とご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大による産業界への影響は計り知れず、“With コロナ”の中で感染防止対策を進めつつ、ようやく産業活動の活性化が図られてきました。そのような状況下で、県内の職場における休業4日以上の死傷災害は、令和2年以降増加に転じ、令和3年の発生件数は25年前と同水準となりました。発生件数には職場における新型コロナウイルス感染症り患によるものも含まれますが、通路や作業場所での転倒災害が多発しており、加えて建設機械、フォークリフト等を起因物とする労働災害も増加してきています。また、第13次労働災害防止計画は最終年度を迎え、死亡災害及び死傷災害に係る基本目標の達成に赤信号が点灯している状況にあります。

このため石川労働局では、転倒災害をはじめとする死亡災害及び死傷災害を防止するため、より一層の取組を進めていく所存です。

貴支部におかれては、建設機械、フォークリフト等の特定自主検査の適正な実施や安全作業に向けた研修会やパトロールの実施、フォークリフト運転技能講習の実施等により、死傷災害の防止に取り組んでいただいているところであり、貴支部の果たす役割は重要です。

石川労働局としても、労働者が不安なく、かつ、安全で健康に働くことができる環境の整備を図るため努力してまいりますので、皆様方の更なるご理解とご協力をお願いいたします。

おわりに、貴支部の今後ますますのご発展をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



祝辞
金沢労働基準監督署長
野田 宏

公益社団法人建設荷役車両安全技術協会石川県支部が、創立40周年を迎えられたことに対し、心からお慶び申し上げます。

貴支部におかれましては、40年の長きにわたり、各種研修・教育の実施や巡回指導等を通じて、建設荷役車両の性能の保持向上と、作業の安全を確保するための定期自主検査制度の定着化を積極的に推進され、石川県の労働災害防止活動水準の向上に大きく寄与されており、深く敬意を表します。

さて、令和3年の金沢労働基準監督署管内の労働災害発生状況ですが、休業4日以上の死傷者数で785人と、令和2年より120人、18%増となりました。

冬季の転倒災害と新型コロナウイルス感染症災害の増加が主な要因です。

事故の型では転倒災害が約3割で最も多く、転倒災害の約8割は50歳以上の高年齢労働者が占めています。

「STOP! 転倒災害」を合言葉に、転倒災害防止の取り組みを広く呼びかけています。

金沢労働基準監督署では、労働災害防止を行政の最重点課題の一つとして取り組んでおりますが、この目的を達成するためには、労使、とりわけ事業主の方々が労働災害防止の重要性を認識され、自主的に積極的な災害防止に取り組まれることが肝要です。

そのために、貴支部の果たす役割は極めて重要なものがあり、これまでの輝かしい実績との中で培われてきた実践力をもとに、会員各位ともども相協力され、今後とも労働災害防止のための一層のお取組みを期待いたします。

最後に貴支部の益々のご発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。



40周年を祝して
建設荷役車両安全技術協会
石川県支部長
大弥 保憲

平素は石川県支部に対し多大なご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。お陰様で本年創立40周年の記念すべき節目を迎えることが出来ました。この記念すべき年に支部長という要職にあり、一層身の引き締まる想いであります。

当支部が創立40周年を迎えることが出来ましたのも、ひとえに関係行政機関を始め、会員の皆様方のご支援ご協力と、先輩諸兄の皆様のご尽力によるものと衷心より感謝申し上げる次第でございます。

さて当支部は、協会の礎となります任意団体「建設荷役車両安全技術協会」が昭和53年12月に発足され、翌年に労働・通産大臣より「社団法人」の設立許可を得て、社団法人建設荷役車両安全技術協会が発足されました。その後、全国都道府県に支部の設置が決議され、昭和57年に石川県支部が設立され現在に至っております。

当支部の活動には、労働災害防止のため建設荷役車両の性能保持向上と、作業の安全を確保するための定期自主検査制度の定着化を推進させる事を目的としています。近年は技術取得研修の他に巡回指導を強化し、現地にて会員様向けに各種アドバイスを実施しております。

今後とも、業務の適切な運営及びSNS・ホームページ・オンライン会議システム等を活用し、会員様に対するサービス向上を図り、より信頼される支部として努力をいたす所存であります。

結びに、関係及び会員の皆様方のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして創立40周年の挨拶とさせていただきます。



現在

2022
(R4)

全県5地区 93 社 215 台巡回指導
石川県安全衛生大会
能力向上教育（フォークリフト・建機）
理事会、定期総会、大弥支部長再任
リスクアセスメント2～3月（穴水）

全国の会員数4210社
47支部
東京オリンピック開催

2021
(R3)

検査業者業務点検コース開始
資格取得研修（フォークリフト・高所）
検査業者（会員）へ個別巡回指導開始
ブログによるPR活動開始

2020
(R2)

定時総会Web書面決議
（コロナ対応）
実務研修実技コース開始

支部長交代
（米井裕一氏→大弥保憲氏）
コロナウイルスが日本で発覚
国立工芸館が金沢でオープン

2019
(R 元)
(H31)

元事務局長、灘地信夫氏瑞宝双光章叙勲
講師、山下良勝氏石川労働局長表彰
J A X A はやぶさ 2 号が小惑星に着陸成功
消費税 10%に引き上げ

2018
(H30)

北陸豪雪金沢87cm（2月3日～8日）
支部長米井裕一氏厚生労働大臣表彰
本部長交代（吉識晴夫氏→酒井信介氏）

2017
(H29)

チェックリスト審査委員会

九州北部豪雨
事務局長交代（松下正一氏→荒木寛氏）

2016
(H28)

天皇陛下退位の意向示唆
熊本地震発生（4月16日）
リオオリンピック開催

支部事務所移転（郷友会館→神宮寺）

2015
(H27)

北陸ブロック業務
打合せ会議

北陸新幹線開通（長野—金沢）
ラグビー W 杯歴史的勝利
日本人科学者 2 人がノーベル賞

2014
(H26)

ロシアソチ冬季オリンピックで羽生結弦金メダル
消費税8%に引き上げ
広島土砂災害で74人死亡（8月20日）



2013
(H25)

実務研修（解体用機械追加規制コース）開催
アタッチメントシール販売
台風18号大雨特別警報初めて発表



2012
(H24)

本部公益社団法人へ移行
支部創立30周年記念式典



会員状況

○能登地区 11 社

登録番号	会 員 名
石 11	川下建機工業株式会社
石 15	羽咋重機株式会社
石 20	有限会社石田自動車整備工場
石 59	能登建販株式会社
石 61	武部機械リース株式会社
石 81	有限会社睦自動車商会
石 92	有限会社建機サービス工業
石 97	有限会社上町モータース
石 105	三崎自動車整備工場有限会社
事業内	南建設株式会社
事業内	池田建設工業株式会社

○金沢地区 35 社

登録番号	会 員 名
労 50	ロジスネクスト中部株式会社
労 60	コマツカスタマーサポート株式会社
労 132	名鉄自動車整備株式会社
労 196	日本キャタピラー合同会社
労 244	千代田機電株式会社
労 298	株式会社ヨシカワ
労 332	コベルコ建機日本株式会社
労 475	株式会社キセキ関西中部
石 1	コマツ石川株式会社
石 3	北陸重機株式会社
石 14	オダ建機株式会社
石 17	株式会社ケンシン
石 24	北陸オート工業株式会社
石 30	株式会社石川カーリフト
石 33	株式会社灘重車輛
石 38	株式会社日建
石 43	株式会社高蔵自動車
石 47	有限会社シンド機械
石 51	北国建機販売株式会社
石 52	金剛産業株式会社
石 64	トヨタエルアンドエフ石川株式会社
石 68	株式会社ヒサヤス
石 69	有限会社北陸フォークリフトサービス
石 78	有限会社北陸機材
石 79	電通自動車整備株式会社
石 80	極東工業株式会社
石 83	北陸産業車輛有限会社
石 89	株式会社ワールドエンジンコーポレーション
石 103	城西運輸機工株式会社
石 104	株式会社三協機械
石 107	ケイアイフォークリフト
石 112	北国建機
	杉国工業株式会社
事業内	北川ヒューテック株式会社
事業内	株式会社金沢研解体業

○加賀地区 13 社

登録番号	会 員 名
労 39	株式会社北菱
労 301	日立建機日本株式会社
石 5	株式会社室戸鉄工所
石 18	株式会社米野電機
石 29	株式会社ヒラシマ
石 40	株式会社イケガミ
石 45	株式会社小松土木通商
石 62	有限会社河村モータース
石 73	株式会社大同ゼネラルサービス
石 74	小松カーリフト
石 76	有限会社加賀産業車輛
石 96	有限会社大吉工業
石 98	株式会社コマツヤンマー

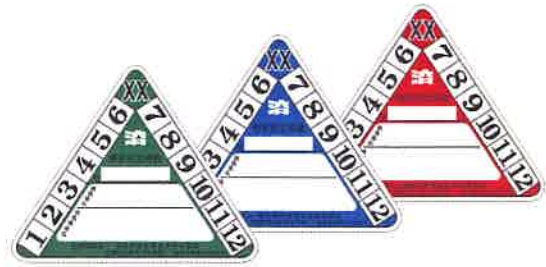
○会員数推移

H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
6 5 社	6 6 社	6 6 社	6 4 社	6 3 社	6 2 社	6 3 社	6 4 社	6 2 社	5 9 社

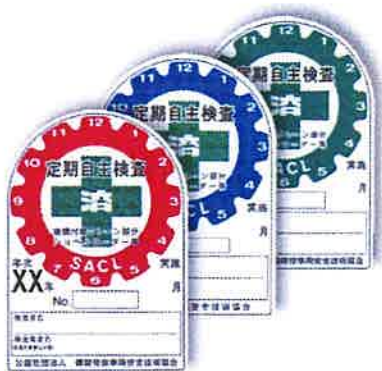
協会が頒布している標章類



事業内検査用



検査業車検査用



定期自主検査済標章



出荷標章

年度	特定自主検査済標章		定期自主検査標章	出荷標章	2年目月例検査台紙	検査記録表	
	検査業者用	事業内用				普通紙	ノーカーボン
平成 24 年度	13,627	3,605	504	1,110	65	797	1,098
平成 25 年度	15,875	4,109	559	1,560	61	796	1,274
平成 26 年度	15,468	3,960	687	1,370	88	783	1,172
平成 27 年度	17,097	3,241	752	1,350	36	969	1,109
平成 28 年度	16,616	4,306	832	1,256	56	999	1,323
平成 29 年度	16,126	3,953	823	1,255	65	741	1,841
平成 30 年度	19,037	4,151	881	1,622	41	903	1,503
令和元年度	17,317	4,061	887	1,600	39	893	1,221
令和 2 年度	18,973	4,134	950	980	46	705	839
令和 3 年度	19,378	3,967	968	3,410	20	491	375



フォークリフト運転技能講習受講者数の推移

研修・教育受講者数推移

1 資格取得研修

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
フォークリフト	0	0	0	20	0	16	12	7	5	10
高 所 作 業 車	0	0	0	0	0	0	14	6	13	0

2 能力向上教育

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
フォークリフト	4				14		9	8	9	中止
整 地・ 運 搬		11	9			14		18	中止	中止
高 所 作 業 車								10		10

3 実務研修(記録表作成コース、実技コース)

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
フォークリフト			4			7		8		
整 地・ 運 搬	17	61		21	15		57	20	12	10
業務点検コース									5	



フォークリフト運転技能講習受講者等推移

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
回 数	3	3	3	3	2	2	2	2	*1 1	*2 0
受 講 者 数	97	115	98	74	80	72	79	74	40	0

※ 1、2 新型コロナウイルス感染症感染拡大のためやむなく中止となる。





4 建機付属クレーン部分安全教育

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
				24			15	14	10	10

5 特定自主検査セミナー(旧特定自主検査管理(者)セミナー)

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
検 査 業 者	16		17		9		14		11	10
事業内検査者		5		13		12		14		5



旧事務所（郷友会館）



現事務所（神宮寺）

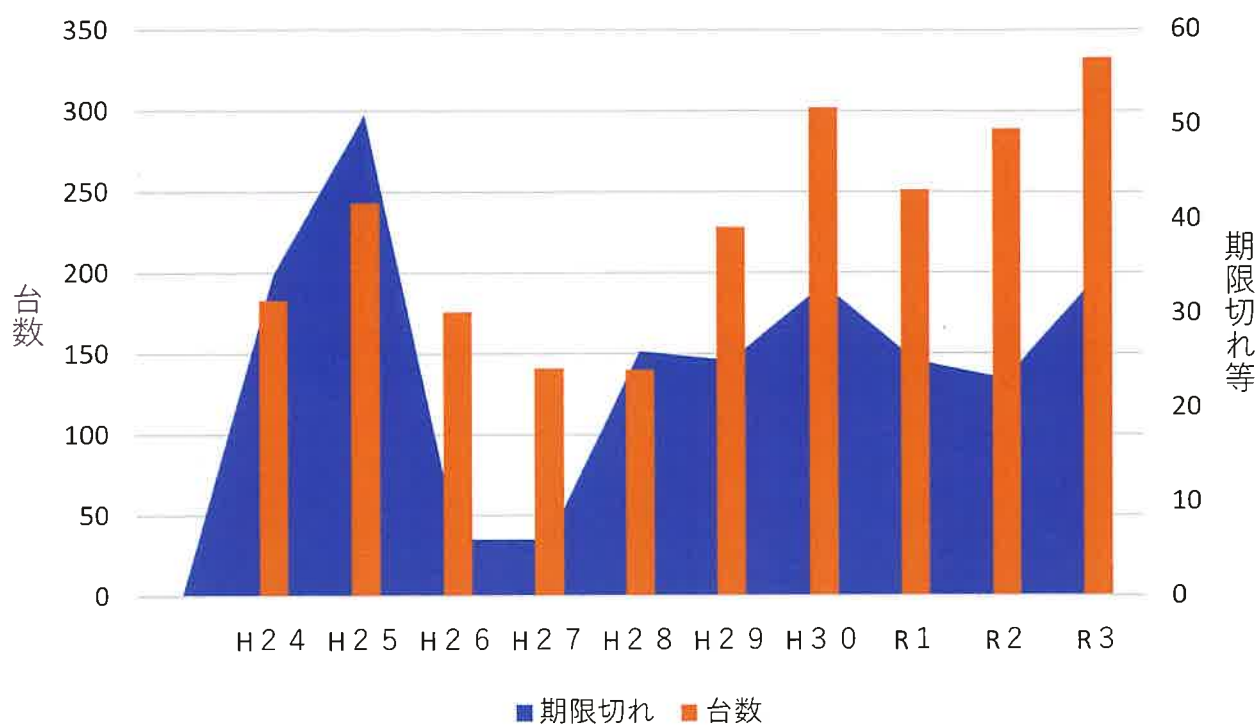


事務所



巡回指導の活動

巡回指導



年度	日数	人 数		事業者数	台数					
		指導員	行政		フォーク	不整地	車両系	高所	その他	期限切れ等
H24	5	7	5	71	26	7	111	5	0	34
H25	5	7	5	80	37	5	143	7	0	51
H26	5	7	5	72	19	4	146	1	0	6
H27	5	8	5	70	11	4	117	3	0	6
H28	5	8	5	58	25	8	81	0	0	26
H29	5	10	5	64	31	9	159	4	0	25
H30	5	14	5	83	47	23	193	6	0	33
R 1	10	23	10	91	34	7	168	17	0	25
R 2	5	14	5	112	20	8	215	23	0	23
R 3	5	14	5	83	36	5	223	33	2	34





平成 24 年～現在（歴代役員）

氏 名	役職名	所属企業名および役職名	在任期間
川 下 公 博	支部理事	川下建機工業(株)	代表取締役
川 下 五 継	支部理事		代表取締役
米 井 裕 一	支部長	コマツ石川(株)	代表取締役
	支部理事		
板 倉 栄	支部理事	コマツカスタマーサポート(株) (旧コマツリフト(株))	石川富山事業部長
近 藤 高 弘	支部理事		石川富山事業部長
高 木 啓 次	支部理事		石川富山事業部長
中 園 和 人	支部理事		石川富山事業部長
米 野 豊	副支部長	(株)米野電機	代表取締役
米 野 穰	副支部長		常務取締役
大 弥 保 憲	支部理事	トヨタエルアンドエフ石川(株)	常務取締役
	支部長		
架 谷 洋 司	支部理事		代表取締役
澤 田 明 秀	支部理事	千代田機電(株)	代表取締役
中 村 匡 志	支部理事		取締役営業本部長
伊 藤 公 一	支部理事	日本キャタピラー (同) (旧：キャタピラーウエストジャパン(株))	石川支店 サービス課長
木 下 松 昭	支部理事		石川支店 サービス課長
酒 井 善 人	支部理事		石川営業所長
宮 川 健 一	支部理事		石川営業所長
松 永 正 気	支部理事	羽咋重機(株)	代表取締役
松 永 義 民	支部理事		専務取締役
浜 田 育	支部理事	日立建機日本(株)中部支店	金沢営業所サービス責任者
村 松 光 生	支部理事		金沢営業所サービス責任者
馳 部 茂 義	副支部長	北陸重機(株)	代表取締役
馳 部 裕 之	支部理事		常務取締役
黒 本 真 治	支部理事	(株)室戸鉄工所	サービス部長
	副支部長		
辻 野 義 幸	支部監事	(株)ヨシカワ	センター長
京 田 秀 之	支部監事	ロジスネクスト中部(株)	金沢支店長
中 原 克 彦	支部監事		金沢支店長

氏 名	役職名	在任期間
松 下 正 一	事務局長	～ H 2 9 年 3 月
荒 木 覚	事務局長	H 2 9 年 3 月～
田 中 彩 恵	事務局員	H 2 4 年 4 月～
松 本 登士子	臨時事務局員	H 2 7 年 1 0 月～



幸せを呼ぶ能登半島さくら貝の油圧ショベル（大谷氏より寄贈）



研修・教育等講師一覧

研修等	氏名	所属企業名	研修等	氏名	所属企業名
資格取得研修	フォークリフト	池高 賢一	実務研修	井戸田佳孝	ロジスネクスト中部(株)
		大弥 保憲		大弥 保憲	トヨタエルアンドエフ石川(株)
		関屋 勝		兼田 章夫	コマツ石川(株)
		橋爪 康史		小島 裕二	コマツ石川(株)
		浜野 毅		関屋 勝	トヨタエルアンドエフ石川(株)
		古木 弘一		高橋 慎一	日本キャタピラー(同)
		山下 良勝		姫崎 裕	川下建機工業(株)
		湯川 信夫		本田 秀平	ユニキャリア(株)
	高所	川村 陽平		宮田 繫一	コマツ石川(株)
		長岡 克典		宮本 貴弘	(株)室戸鉄工所
能力向上教育	フォークリフト	池高 賢一	運転技能講習	山下 良勝	(有)北陸フォークリフトサービス
		井戸田佳孝		井戸田佳孝	ロジスネクスト中部(株)
		大弥 保憲		大弥 保憲	トヨタエルアンドエフ石川(株)
		関屋 勝		奥野 博	ロジスネクスト中部(株)
		浜野 毅		高松 喜一	
		山下 良勝		橋爪 康史	ユニキャリア(株)
	建機	大野 和彌		浜野 毅	コマツカスタマーサポート(株)
		兼田 章夫		東 宗樹	(株)米野電機
	高所	長岡 克典		古木 弘一	ケイアイフォークリフト
				牧野 政昭	
安全教育		大野 和彌		山下 良勝	(有)北陸フォークリフトサービス
		小島 裕二		横山 勉	横山フォークリフト

巡回指導員一覧

氏名	所属企業名
石川 誠二	北陸重機(株)
兼田 章夫	コマツ石川(株)
寺野 靖之	コマツ石川(株)
長澤 忠雄	コマツカスタマーサポート(株)
狭間 賢一	千代田機電(株)
浜野 毅	コマツカスタマーサポート(株)
姫崎 裕	川下建機工業(株)
宮本 貴弘	(株)室戸鉄工所
山下 良勝	(有)北陸フォークリフトサービス

考案賞

年度	賞	受賞者氏名	所属企業名
H24	参加賞	池上茂雄、加山信之、池上雄基、福田由起子	(株)イケガミ
	参加賞	安野利一	コマツ石川(株)
H26	参加賞	小西 登	コマツ石川(株)
H28	金賞	竹田弘吉、岩坂元司	コマツ石川(株)
R2	参加賞	関屋 勝、水口勇樹	トヨタエルアンドエフ石川(株)



本部長表彰

年度	企業賞	特別功績賞		功績賞		技能賞	
	企業名	受賞者氏名	所属企業名	受賞者氏名	所属企業名	受賞者氏名	所属企業名
H24				宮本貴弘	(株)室戸鉄工所	山下裕和	電通自動車整備(株)
H25				東 宗樹	(株)米野電機	浜崎康司	コマツ石川(株)
H26		兼田章夫	コマツ石川(株)	(特別功績賞)		片山彰寛	北国建機販売(株)
H27				石川誠二	北陸重機(株)	村梶輝芳	コマツリフト(株)
H28				三和裕一	(株)米野電機	地藏堂義徳	コマツ石川(株)
H29		大弥保憲	トヨタエルアンドエフ石川(株)	(特別功績賞)		姫崎 裕	川下建機工業(株)
H30				橋詰康史	ロジスネクストユニキャリア(株)	坂下信之	コマツ石川(株)
R1	(株)米野電機			関屋 勝	トヨタエルアンドエフ石川(株)	宮田繁一	コマツ石川(株)
R2		姫崎 裕	川下建機工業(株)	(特別功績賞)		浜野 毅	コマツカスタマーサポート(株)
R3		湯川信夫	トヨタエルアンドエフ石川(株)	(特別功績賞)		川村陽平	(株)ヨシカワ

支部長表彰

年度	検査業者検査者							
	受賞者氏名	所属企業名	受賞者氏名	所属企業名	受賞者氏名	所属企業名	受賞者氏名	所属企業名
H24	新井信二	(株)小松土木通商	石川誠二	北陸重機(株)	川淵基良	キャタピラーウエストジャパン(株)	若狭和典	(株)イケガミ
H25	稲垣貴浩	(株)ヒサヤス	尾山健治	北陸重機(株)	亀井清一	ニチユ MHI 中部(株)	北 健次	(株)室戸鉄工所
	水上貴央	コマツ石川(株)	村田昌彦	コマツ石川(株)	森沢達彦	キャタピラーウエストジャパン(株)	湯川信夫	トヨタエルアンドエフ石川(株)
H26	岩腰幸良	北国建機販売(株)	上田和成	(株)セキ北陸	坂本和真	北国建機販売(株)	下原直助	(株)イケガミ
	中村清一	(株)セキ北陸	藤沢 一	トヨタエルアンドエフ石川(株)				
H27	池高賢一	トヨタエルアンドエフ石川(株)	井戸田佳孝	ニチユ MHI 中部(株)	折戸孝行	北陸重機(株)	宮澤博人	北陸重機(株)
	本野 航	(株)セキ北陸	谷内 実	コマツ石川(株)				
H28	石川誠二	北陸重機(株)	米谷靖生	コマツ石川(株)	西出清貴	トヨタエルアンドエフ石川(株)	馳部裕之	北陸重機(株)
H29	小杉朋大	コマツ石川(株)	関屋 勝	トヨタエルアンドエフ石川(株)	柄澤考洋	(株)セキ北陸	西村 豊	川下建機工業(株)
	牧 勝哉	(株)ヒサヤス						
H30	川村陽平	(株)ヨシカワ	高岡裕司	トヨタエルアンドエフ石川(株)	寺田健太	ロジスネクスト中部(株)	中村 勝	コマツ石川(株)
	古田真吾	川下建機工業(株)	松川幸雄	コマツ石川(株)				
R1	沖野清文	トヨタエルアンドエフ石川(株)	北出倫照	(株)北菱	久保幸広	ロジスネクスト中部(株)	西 裕一	コマツ石川(株)
R2	片矢康幸	コマツ石川(株)	五天 翔	日本キャタピラー(同)	酒井隆暢	電通自動車整備(株)	坂下 朗	トヨタエルアンドエフ石川(株)
	出村恵介	千代田機電(株)	橋爪正光	コベルコ建機日本(株)				
R3	池田明弘	(株)ケンシン	岩上鉄男	オダ建機(株)	川崎 彰	北陸産業車輛(有)	進藤 勉	(有)シンド機械
	中山重明	(有)石田自動車整備工場						

年度	事業内検査者							
	受賞者氏名	所属企業名	受賞者氏名	所属企業名	受賞者氏名	所属企業名	受賞者氏名	所属企業名
H24	清川 徹	和興建設(株)	橋田和幸	(株)門寺建設	本田 淳	若松商事(株)	宮村良成	東南建設(株)
H25	高林 実	三和建設(株)	幅田 亮	(株)茶谷組	焼山静夫	(株)鍛冶建設		
H26	今本茂也	今本工務店	上野清孝	(株)田中建材	相古順二	(株)鷲富運送	釣谷松次	(有)釣谷組
H27	柿木利雄	森土木工業(株)	松田信之	(株)田中組	山口利勝	(株)山口	吉田哲也	(有)吉田組
H28	澤田健司	(有)沢田電興社	高田洋一	沢田工業(株)	西村洋昭	中林建設(株)	堀内憲治	昭和生コンクリート(株)
	柳澤勝利	加州建設(株)	山下 勝	(株)鍛冶建設				
H29	清岡 登	協和道路(株)	谷川正良	谷川建材工業	谷口勝治	(株)クリオ	長谷川英剛	小中出建設(株)
	馬場英樹	馬場建設(株)	安田勝巳	東部自動車興業(株)				
H30	石崎正三	北川ヒューテック(株)	大龍竜二	(株)金沢析解体業				
R1	清原克彦	北川ヒューテック(株)						
R2	打越敏信	(株)新出組						
R3	西中順治	(株)西中建設						



あとがき



創立40周年を迎えここに記念誌を発刊できますこと嬉しく思うところであり、皆様からご支援をいただき感謝申し上げます。支部の活動として研修・講習の定例化と出来る限り会員様へ出向いての対話を心掛け、巡回指導を強力に進めてきましたが、新型コロナウイルスにより外出自粛が要請され、テレワーク、オンライン会議が広まり理事会や総会もオンラインとなってしまいました。

さて特自検制度も40年以上経ち、機械の技術進歩は驚くほどに大きく、また稼働現場の自動化などの激変に対して、今回の記念誌を作成する過程で特に強く、制度の大改革が必要と感じております。「自主検査」である特定自主検査は自動車の車検制度と大きく違い、特に危険な機械に対する検査にもかかわらず現状の事業内検査などの検査内容や不具合の補修措置は、事業者判断では残念ながら安全確保は全く出来ません。

また次世代の人達に対して新しい方向付けが急務と思われます。制度全体として検査内容や検査員資格、記録表、不具合箇所の措置、検査期間、安全装置など、皆様と一緒に俯瞰的に考えて行く決意であります。

最近マスコミや国会などで「安全=安心」と報道されており、コロナ禍でも感染防止対策をすれば安全と言われても不安を感じる人が多く安心出来ません。

工場や現場では機械や人が動いており、時間の経過や環境の変化により安全と危険のレベルは常に変化します。

以前サービスマン時代に現場JV 所長から入場時に、「ここは災害ゼロでアンゼンな現場だからアンシンして頑張ってください」と言われ、これは危ないと思いセンターに戻りミーティング時に「ここはとんでもない怖い現場ですから特に注意しよう」と話しましたが、後に重篤な事故を起こしてしまったという苦い経験があります。

安全な場所はありません。安心して気を抜いていると災害が起きる危険大である事を再認識しましょう。寒い時に源助大根で作って貰ったおでんは、ほうほうと口の中できちんと広がって何とも言えない味わいです。暖かい豊かなところで有難い気持ちになりますが、気を引き締めていきましょう。

最後に、発刊にあたり不確実な箇所や掲載出来なかった方々様につきましてはお詫び申し上げます。今後とも事務局一同、力を合わせて皆様方へのお手伝いをさせていただきますのでお気軽にお問い合わせ、ご相談くださいますようお願い申し上げます。

厳しく苦しい時代の次は明るい楽しい時が必ず来ると信じて、特自検推進活動を熱く進めさせていただきます。 Stay with me !

皆様方のご健康とご安全を祈念いたしましてあとがきとさせていただきます。
ありがとうございました。

事務局長 荒木 寛